

美ヶ原の蝶と植物

最近、蝶や山野草の愛好家が増加しているのは、喜ばしいことである。

反面、心ない乱獲者もいて、今や絶滅または絶滅しそうな品種が激増している。

野草では 蘭を見れば盗掘する商売人さえいる。私が少年の家なら許されるであろうと、山から移植したアツモリソウは、本年何者かに持ち去られた。新聞では、絶滅または寸前九百種が報道されたが、もっと多いのではなかるうか。大切にして欲しいものである。

蝶では、正に絶滅寸前は、亜高山蝶のオオイチモンジであり、ミヤマシロチヨウである。本年は、私を見る限り、少年の家に飛翔して来たヒメギフチヨウは一頭もいなかった。

そのほか、キベリタテハ、コヒオドシ、ツマジロヒメジャノメ、今は多いがシートタテハは激減しつつある。乱獲者が次々と押し寄せ 中には、幼虫が食する食草をも卵と共に持ち去るからである。

亜高山の美ヶ原の野草と蝶を守って欲しい。
美しく咲いた花を眺め、可憐に飛翔する蝶を目で追うに留めて欲しいと思うのは勝手であるうか。

平成元年八月一日

少年の家 指導員

長野県高山植物保護推進員 上條 真伍

長野県薬草指導員